

# ★神戸の集いから

★神戸洋服ひとすじに60年

紳士服の田中常三郎さん

が、神戸洋服ひとすじに六

十年、業界の発展と技術向

上、後継者の育成に力を尽

くされた功績に対して勲六

等瑞宝章が授与され、叙勲

た。

★女性美を描き続ける  
上尚司画伯を囲んで  
東京生まれの大坂育ち東京芸大出身で、千葉新聞の美術記者から作家活動に入り、神戸へ移って十年、兵庫教育大で教鞭を取る上尚司画伯が、この十一月十二日からボートビアホテルの三越ギヤラリーで個展を開催、同時に翻訳本の出版というダブル記念パーティー



午後三時より、生田神社会館四階ホールで、約一二〇人の人々が集まって開かれた。



上尚司画伯夫妻を囲んで

发起人は、岡重道、佐藤夏夫、加藤公一、浅山章一、横山忠吉、三井敏雄氏ら。技術コンクールや、セミナー、ショーの開催などに尽力した今も若々しい田中常三郎さんと夫人の姿はハイカラ神戸の伝統を守り創つて来たあゆみの風格が美しいかった。砂田重民(代)、中西一郎、石井一さんら政界と、沢村隆雄、中井弘、新井芳孝さんら洋服業界のリーダーもお祝いにかけつけた。

上尚司画伯は、同ホテルで開き約一〇〇人が集まつた。「彼は若い頃からクリエーターで、非常な努力家。本の印税を結納に結婚したんです」と友人の坂本四天王ハワイ別院館長が上尚司画伯夫妻にメッセージ。夫妻揃ってヨーロッパ旅行も多く、夫人が「少しがんばればいい」と評すると「夜の外出をもう少しするめて」と画伯。フェミニストぶりが微

笑ましい風景だった。

★山口県の商工会連合会が

「神戸の街づくり」研究

山口県の商工会連合会

(商工会議所地域を除いた各市町村に設立されている

人生最後の情熱を燃やしている多田繁次さん。今、甦りつつある、たくましく美しい、これら無名の低山の魅力を紹介する「低山遍歴神



山口県商工会連合会と本誌小泉

組織)とその事務局長連絡協議会が主催する、県外研修会事務局長十五名)が、神戸の街づくりを研修視察に十月三十一日(十一月一日)に来神。

センターープラザ西館で本誌小泉美喜子(副編集長)が「わが郷土・神戸」を講演した後、さんちかタウン、センターハー街、元町などを見学し南京街の昌苑で会食。

神戸への何よりの関心事は、さんちかタウンも株式会社神戸市の都市経営の一連事業で、各々が独立採算であること、また各種イベントの成功に興味集中。神戸の次は、徳島、大鳴門橋など瀬戸内海コースの観察に向つた。

★多田繁次著「神戸近郊の山やま」出版記念

神戸から近く身近な、いわゆる里山と呼ばれる北神

と三田から丹波・東播地方へかけての、これまで登山者からかえり見もされなかつた無名の低山郡の探訪に

人生最後の情熱を燃やして

いる多田繁次さん。今、甦

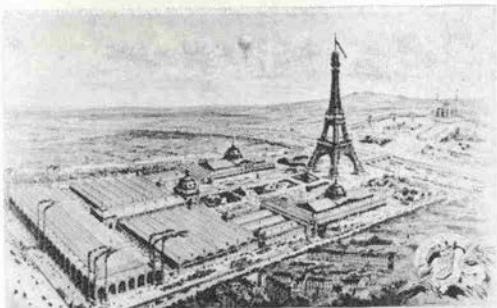
りつつある、たくましく美

しい、これら無名の低山の魅力を紹介する「低山遍歴神



多田繁次さんを囲む登山仲間たち

戸近郊の山やま」(紀行・随想)が、この度神戸新聞出版センターから出版された。山行65周年、80歳記念とを兼ねた、その出版記念パーティーが11月20日、舞子ビラで催された。当会には、多田さんを支援する登山仲間ら100名余りが集まり、多田繁次愛唱山歌を全員で合唱するなど、山男(女)らしく爽やかで、和気あいあいとしたムードとなつた。「多田ケルン」設置基金のためのオークションも行われ会場は賑やかに盛り上がった。



〔開館15周年記念〕  
**Paris Moderne** 印象派から世纪末まで

1986年1月5日(日) — 2月11日(祝)

兵庫県立近代美術館

神戸市灘区原田通3-8-30 TEL(078)801-1591

まちがい  
魅る花の都  
**モダン・パリ展**  
"RETROSPECTIVE DE PARIS MODERNE"

出会いが生まれ、言葉が交わされるある空間、ある場所——まだ大半が田舎風だったベル・エポックのフランス社会のなかで、それが都市でありパリであった。

道路が整備され、大通りが出来上がる。鉄道が敷かれ、電灯が灯り、鉄とガラスの新しい時代を告げる建築物が建てられるとともに、カフェ・劇場がにぎわいを見せ、パリジャンたちは良き時代のパリの生活を詠歌した。パリの並外れた活力が多様な社会生活の形態を生み出していった。

印象派の画家たちが登場したのもちょうどこの頃である。近代都市パリが自分たちの作品の重要なテーマになりうることを発見した彼らは、都市風景、そこに生きる人々の生活へと題材を広げていったのである。

カフェに集う人びと。ウインドウに飾られた色とりどりの商品。四輪馬車と路面電車の行き交うブルヴァール。モンマルトルのキャバレー。最新モードのパリジェンヌ、小説・絵画・版画・写真の中に、「都市・パリ」が大量に姿を見せていく。

「パリ燃ゆ」(大佛次郎)のパリ・コミューンから、万国博覧会、エッフェル塔、そして地下鉄開通と、様々な出来事を生んで発展した19世紀末のパリの町と人々の生活、その光と影を、油絵・版画・ポスター・写真など百七十余点によって紹介する。



セルヴァンド「1889年のパリ万国博覧会の眺め」(右頁上)

ギュスター・カイコボット「雨のパリ・トリノ街とモスクワ街の交差点にて」(右頁中)

ピカソ「カンカン踊り」1900年(右頁下)

ペロー「ジャルダン・ド・パリの夜の美女たち」1905年(上)

★会期中の催し  
講演会 I 1月15日(祝)午後2時  
「描かれたモダン・パリ」

島田紀夫(美術評論家)  
II 1月18日(土)午後2時  
「パリの世紀末」—都市の光と影—

山脇一夫(近代美術館芸員)  
III 1月25日(土)午後2時  
「パリと写真」伊藤俊治(美術評論家)

映画会  
シネマ・リュミエール  
「グラン・メリエス」

★この美術展のチケットを10名様にプレゼント。希望者は葉書に住所・氏名を明記。神戸っ子「近代美術館」係へ  
1/20締切

●モダン・パリ展 着る花の都  
1月5日(日)~2月11日(祝)午前10時~午後5時  
(入館は午後4時30分まで)月曜休館

一般750円(当日900円) 大・高生550円(700円)  
中・小生300円(400円)

## (財)神戸市民文化振興財団

理事長 宮崎辰雄

神戸市中央区雲井通5-1-1

電話 (078) 251-1919

俳句

## 青玄俳句会

伊丹三樹彦

尼崎市南塚口町2-7-8

電話 (06) 429-3820

嵯峨御流いけばな・表千家茶道

## 嵯峨御流文化センター

吉田泰己

神戸市中央区八幡通4丁目2-9

フラワーロードビル801 電話 (078) 251-5321

染花・小もの

## 花つみサロン

廣野佐多子

神戸市北区東大池2丁目5-23

電話 (078) 981-5296

## 甲南カルチャーセンター

ポピュラーソング・シャンソン

和・洋フラワー・アレンジメント

その他、ユニーク教室

## 甲南ランゲージ

## サービスセンター

はじめてのドキドキフランス語会話・

英会話、各レベル

## 主宰 甲南学園サービスセンター

神戸市東灘区住吉本町2丁目29-15

甲南学園平尾記念館内 電話 (078) 854-1605

あけましておめでとうございます

1986年

元旦





写真／緒方しげを

光と風と水。風土に育まれた『神戸の文化』

俳句

## 渦俳句会 赤尾恵以

神戸市東灘区御影山手13—4  
☎ (078) 811—0760

バレエ

貞松・浜田

## バレエ学園・バレエ団 貞松 融 浜田蓉子

神戸市灘区畠原通3—6—6  
☎ (078) 861—2609

いけばな及びロイヤルフラワーアレンジメント

## 専正池坊泉会 諸 泉 陽 子

神戸市東灘区住吉山手3丁目2—21  
☎ (078) 811—1601

日本画

## 爽美会

西宮市大谷記念美術館内 阪神  
アートアカデミー山平義正教室  
☎ (0798) 35—0943

木彫・染色教室

## がれりや馬亜乃 村上喜平 白石弘子

神戸市中央区北野町4—9—6伊藤マンション  
☎ (078) 242—5005

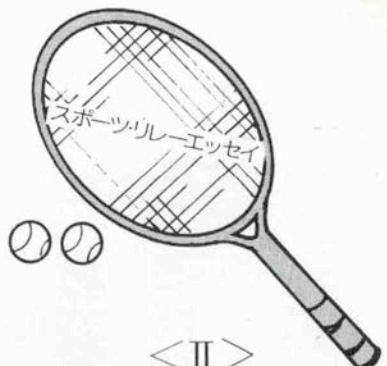
アートフラワー・アンティークフラワー  
パンフラワー・その他のフラワー  
粘土人形・アクセサリー・彫金

## タカコアートスクール 天野剛子

神戸市中央区北野町2丁目16—27  
☎ (078) 241—3355

# 「ヤツタア！」

## とうとう日本一



&lt;II&gt;



宇和川令子

（第七回朝日レディーステニス  
全国大会優勝  
兵庫チーム選手  
日本語教師）

11月5日 (火)

大阪発10時16分のひかりはいつにない賑わい。だって三十路半ばの女が七人も集まれば、姦しいを通り越して……。間際まで食事の作りおきに忙しかった人、コーフンしてなかなか寝つけなかつた人——まるで気分は修学旅行。七人の共通項はテニス。皆、「虫」のつく程のテニス好き。テニスが、優雅でしとやかなスポーツだなんて、とんでもない。試合ともなれば、コートは戦場。汗と火花が飛び散る。シーズン中は、東へ西へ、トーナメントアマは、賞品稼ぎに大忙し。でも主婦プレイヤー。コートに立つ時間をひねり出す為に、家事は要領よくこなさなくちゃ。わがパートナー山本さんの編み物は玄人はだし。さつきから人を笑わせてばかりの、陽気な福岡さんは、ケーキ作りの名人。みんな、時間のやりくりが上手。年もキャリアも似た者同士、すっかり女生徒に戻つて、少々はしゃぎ過ぎたかな。

久しぶりに嗅ぐ東京のにおい。東京出身の私は地理に明るいからと、一行のツアーコンダクター(?)を勤めることになる。宿舎は新宿のビジネス

ホテル。それにつけても、東京の変わり様はすさまじい。帰って来る度に、"異邦人"の感を強くするのは、私がもう関西の人だから？

夜はレセプション。全県の選手が一堂に会してドロー抽籤。いいドローをひきあてるのも勝負のうち。広川監督のひいたクジはまずまずの位置。シードの千葉さえモノにできたら、ひょっとして……。とらぬ狸を看に、まずは乾杯。頑張ろうね。

11月6日 (水)

5時30分起床。夜半からの雨は止まず、会場は高輪の室内コートに変更。6時半からの朝食に、待てど暮せど監督が現れない。何事かと捜しに行きかけたら、起き抜けの体で大慌てでやって来た。「目覚しが鳴らなかつたあ」慌てぶりがあんまりおかしくて、試合前の緊張は、どこへやら。

初戦は群馬。初陣の割には、あまり固くならず三組とも快勝。負ければ、即、ホテルを追い出されてしまう。折角来た東京だもの、せめてもう一晩泊ろうよと、第二戦も、香川に全勝。遠来の香川さん、ごめんなさい。

ホテルのロビーの公衆電話は、今夜も長蛇の列

「おかあさん、もう一泊するから、家をよろしくね」主婦が家をあけるのは、気を遣う。

### 11月7日(木)



初優勝の兵庫チーム 上段右より広川友子監督、福岡輝子、松岡真美子、福永真弓、木田さちよ、下段右より山本順子、宇和川令子(筆者)の各選手(写真提供/スマッシュ)

今日は雨。恵みの雨か、恨みの雨か……きのうは、東京が初戦負けという番狂わせ。宮崎にストレート勝ちの後は、問題の千葉。今年こそと、優勝を狙う千葉は、大した意気込み。「必勝」の垂れ幕に、ネット鉢なりの応援団。四面楚歌の中、「敵は強し、負けてもともと」の居直りテニスが効を奏して、先発二組だけで勝敗決着。よくぞ勝ってくれました。ついに難関クリア。味方も強かつた。喜び過ぎた私たちのペアは、千葉の意地に力及ばず。「下手な負け方したら、ビール抜きよ」と、監督におどかされて、挽回はしたけれど。

最後の夜は、せめて景気よく前祝と、歌舞伎町にご一行様ご案内。とりあえずとびこんだ炉端焼屋で、すきっ腹に東京の夜を流し込む。お店のお

ベスト4の四県だけ。五連覇を目指す強豪神奈川が、静岡に破れる大波乱。ゆうべ、ロビーで泣いていたつけ。どうせ泣くなら、うれし涙をと、久我山のメイン会場へ。記者にカメラマン、テレビの中継車、三々五々集まるギャラリー。胸は早鐘を打ち始め、まるで開幕を待つ舞台女優の心境。準決勝は隣組の大坂。木田・福永組、苦戦、先鋒の松岡・福岡組は第1セットを落とす。もう出番なしかと詰めかけたら、胃が痛くなるような逆転劇。華奢な松岡さんの闘いぶりは健気。決してめげない福岡さん。結局、2-1で決勝進出。

ここまで来たら埼玉までなぎ倒した静岡が、どんなに強くたって、私たち、やるつきがない。ついてる先発組が幸先よく、まず一勝。二番手は、フルセットにもつれ込む長丁場。撃つ足を引きずつて走る木田さん、木田さんをかばつて頑張る福永さんのガツツ、揉まれて育った「団塊の世代」は、逆境に強いのだ。マッチポイントが決まった瞬間、隣のコートで試合を始めた私たちは、思わずびあがつて、「ヤッタア！」とうとう、日本一。広川采配の下、一丸テニスで勝った。タイガースにあやかれてよかつたね。

東京駅で、我先にとびつく電話。「おとうちゃん、優勝しちゃった。今から帰るから、待つてて……」家族へのお土産は優勝メダル。これもみんなの協力のお陰。ママにテニスさせてくれて、ほんとにありがとう。疲れがドッとふき出して、眠りこけた車中の顔は、みんなとてもいい顔。

にいさんが、「ママさんバレーですか？」

### 11月8日(金)

ウソみたいな青空。ホテルに残っているのは、ベスト4の四県だけ。五連覇を目指す強豪神奈川が、静岡に破れる大波乱。ゆうべ、ロビーで泣いていたつけ。どうせ泣くなら、うれし涙をと、久我山のメイン会場へ。記者にカメラマン、テレビの中継車、三々五々集まるギャラリー。胸は早鐘を打ち始め、まるで開幕を待つ舞台女優の心境。準決勝は隣組の大坂。木田・福永組、苦戦、先鋒の松岡・福岡組は第1セットを落とす。もう出番なしかと詰めかけたら、胃が痛くなるような逆転劇。華奢な松岡さんの闘いぶりは健気。決してめげない福岡さん。結局、2-1で決勝進出。

ここまで来たら埼玉までなぎ倒した静岡が、どんなに強くたって、私たち、やるつきがない。ついてる先発組が幸先よく、まず一勝。二番手は、フルセットにもつれ込む長丁場。撃つ足を引きずつて走る木田さん、木田さんをかばつて頑張る福永さんのガツツ、揉まれて育った「団塊の世代」は、逆境に強いのだ。マッチポイントが決まった瞬間、隣のコートで試合を始めた私たちは、思わずびあがつて、「ヤッタア！」とうとう、日本一。広川采配の下、一丸テニスで勝った。タイガースにあやかれてよかつたね。



・仁西両師の像を沐浴します。

さて神式仏式両様の儀式が終る

と冒頭の入初式の歌が歌われ、淨

米を若松で白紙に書き寄せる六根

清浄の祓行事が行われ、これで儀

式は終ります。

行列は帰路につき温泉寺へと戻

ります。しかし事もなげに帰るわけではありません。  
その途中で湯女は輿に向って、  
“返せ、返せ”と手招きで呼び掛けます。その都度、輿は行きつ戻りつします。合わせて三度。そのうち温泉寺へと帰り着きます。

この“返せ

返せ”は、慈悲深い仁西上

人を慕い、上

人の帰りを惜しむさまを表わしたものといわれています。

この入初式

は、日本最古

の神靈泉である有馬温泉

が、その歴史

を年之初めの

行事に託して

有馬内外にア

ピールする風

物詩といえま

す。



有馬古絵図「入初式」から

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

**銀水荘**  
別館 楽山 TEL (078) 904-0622  
別館 光楽 TEL (078) 904-3656

静寂さにつつまれた  
くつろぎの宿  
国際観光旅館

**陵楓閣**  
TEL (078) 904-0675 TELEX 5627-115

テニスでいい汗  
いい湯にとっぷり  
味に集う

**Sunny Side up**  
サニーサイドアップ テニスクラブ

TEL (078) 903-1024  
木造りの宿

**御所坊**  
TEL (078) 904-0551

自然の恵みを  
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

**古泉閣**  
TEL (078) 904-0731

# 孤独な声に耳を傾ける 神戸いのちの電話

橋 本 明(社団法人「家庭養護促進協会」事務局長)

西神戸Y.M.C.A内にある「神戸いのちの電話」の事務局を訪ねると、ちょうどボランティアの相談員たちの話し合いが行なわれていたので、頼んでしばらく同席して話を聞かせてもらった。この日集まつた七人の相談員たちは一年間の養成講座を終了してこの十月から電話を受け始めた第10期生のボランティアたちであり、訓練委員の先生を囲んで熱心な話し合いが続けられていた。始めてからまだ一ヶ月程度なので受話器の向こう側の声にとまどつたり、驚いたり、あきれたり、憤慨したりで、新鮮な体験に話はつきない。

「正直言ってがっかりしました」という声もあった。

真剣な人生相談を予想して、意気込んでとりくみはじめたら、性に関する相談が多く、なかにはいたずら電話のようなものもあり、出鼻をくじかれたような気持になることがあるのだろう。

母子相姦をやめられなくて悩んでいる息子、妻子ある男性と肉体関係をもつて離れられない女性、受験をひかえて性に悩む女子高校生、マスターべーションをしながら興奮して電話をかけてくる中学生等、実にいろんな話が出される。なかには思わず吹き出しそうな相談もあるが、かけられた本人はみな真剣で必死の思いなのである。相談員はそれらの話の内容について、ともすれば自分のもつている道徳観や倫理観、善悪の基準で判断し、

応答しがちだが、「内容の事柄よりもその背後にある隠された気持ちに耳を傾けることが大切」と訓練委員の先生から教えられる。「相手の表情が見えないだけに言葉の使

い方が大変難しい」というのがみんなの実感のようであった。三本ある「神戸いのちの電話」は朝八時から夜の九時までひっきりなしに鳴りひびく。一九八四年の一年間には約四万六千件近くの電話がかかり、応答できたのが約一万三千件、留守番電話に入ったのが約二万七千件、無言、間違い電話が五千件余りとなつていて。一日の応答件数は約四十五件、応答できなかつた件数は一日平均約三件だそうである。年代別では10代が全体の35・7%、20代~60代が55・9%。性別では男性が女性より三千件程多い。また問題別では第一位が性の問題、第二位は男女問題、第三位が夫婦問題であり、その後に家族、人生、対人関係などの問題が続く。

また、電話をかけてきた本人が自殺念慮を表明したものの、またその様子が伺えると判断されたものが一三二件あった。「いのちの電話」はいわゆる応急処置の役割を果たすものであるから継続的なカウンセリングや治療はできない。したがつて、悩みをもつて電話をかけてきた人たちの「その後」についてはわからない。しかし、相談の内容によつては地域のなかの他の相談機関や病院、専門家を紹介することにしている。

相談電話は  
**078-642-3300**

午前8時~午後9時(日・祝休み)



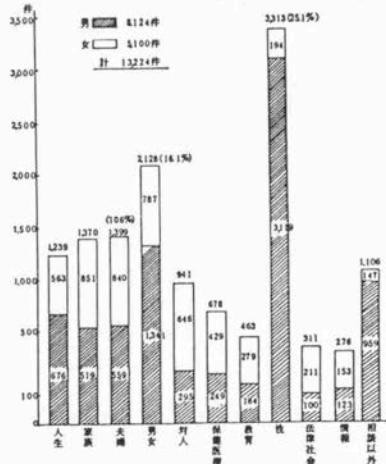
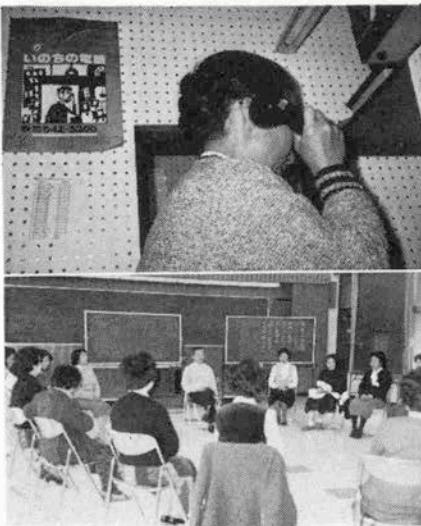
この「いのちの電話」には、今の社会のさまざまな病理があふれ出ている、といわれるようくに多種多様な問題が電話線を通して流れこんでくる。それを受けとめる相談員は約二四〇人。九割が女性で、そのうち八割近くが家庭の主婦である。相談員の応答の仕方によつては電話線の向こう側の人間の生き方をすら左右しかねない。当然のことながら相談員は秘密保持を厳守する義務があるから家庭に帰つてもおいそれと相談の内容については家族にもしやべれない。そのため、毎月一回訓練委

員の専門家から指導をうけたり、年に二回一泊研修をやり、応答の仕方についての研鑽を積むと共に、相談員自身が悩みを語り合つたり、うつ積した気持を晴らしたりする時間や場所が設けられている。ボランティアといつても大変な重責を背負つてゐることになる。

「いのちの電話」というのは24時間休みなく活動するのがたてまえとなつてゐるので、ここでもできれば24時間体制をとりたいと願つてゐるが、現在はYMCAの建物に間借りしてゐるのでそれができないのと、独立して活動するためには活動資金が大幅に足りないのが悩みの種。

「いのちの電話」は十四年前にわが国では初めて東京に設立されて以来、現在は北海道から沖縄にいたるまで24カ所に増え、一昨年の受信総数は十七万四千件にものぼつてゐる。この他にも電話による悩みの相談事業は各都市ではいろいろと行なわれており、その「繁盛」ぶりの背景には、誰にも悩みを打ちあけられずに苦悩している「孤独な群集」のうめき声が累々としてあるように思える。しかし不安な時代の孤独な声にはてつと早い解決策はない。現代文明が私たちに突きつけているこの難問に応えてくれるのは一体誰なのであろうか。

上／電話をうける相談員  
下／相談員の一泊研修



問題別、男女別応答件数グラフ

- 「こうべいのちの電話」事務局  
神戸市長田区水笠通一一一三三三。神戸YMCA西神戸青少年センター内。TEL六四二一四三一七
- 相談のための電話は〇七八（六四二）三三〇〇  
受付時間は午前8時から午後9時まで。日曜・祭日は休み。相談は無料。

# ふたをひくプロフェッサーPの研究室 岡　田　淳

この寒さを 夏まで

からだのなかに 保存しておければ  
クーラー代が助かりますね"



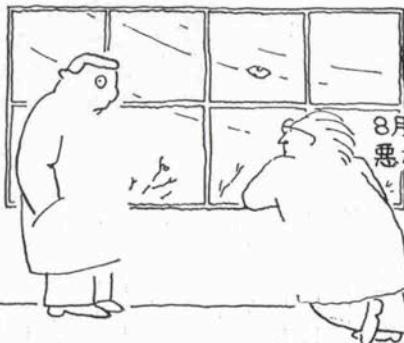
ゆしの友人で  
それに成功したやつがいた

大もうけしたでしょうね

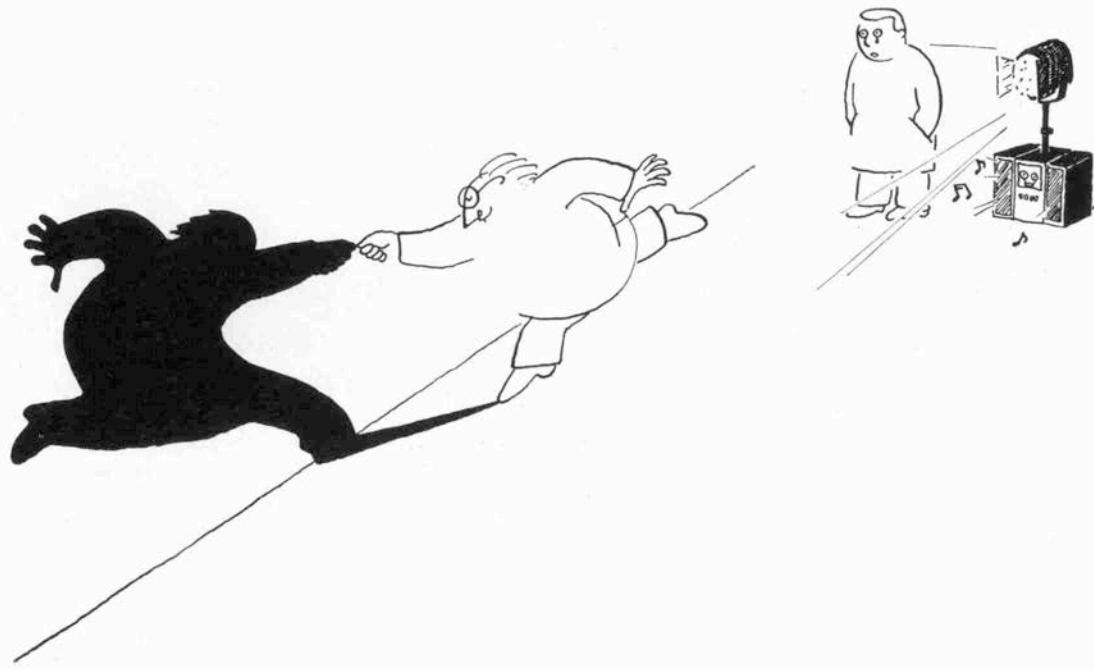
ところが 彼はごごえ死んだ



8月に南半球にひっこしたのが  
悪かったのじやな



ダンス・パートナー・ライトという  
名前はわかりますか?  
いかにも孤独な  
装置じゃありませんか



CINEMA  
試写室



## 淀川長治

〈映画評論家〉



### マイケル・ベネットの 「コーラスライン」を アッテンボロー監督は いかに映画化したか

命令が、やがて、すぐさま呑みこめてきた。



アッテンボローが「コーラスライン」を監督すること  
で、実は初めてびっくりした。  
アッテンボローには実は、「素晴らしい戦争」（一九六  
九年）という鮮やかなイギリスのレヴューミュージカルがあつたが  
近年の「ガングー」監督的印象がきついので、まさかと  
耳を疑った。  
そして見て再びびっくりした。イギリス人らしい頑固な  
人が「コーラスライン」を鮮やかに映画にしおわせてい  
ることであった。アッテンボローは舞台の「コーラスラ  
イン」を頑固に守りぬいた。撮影場所に使ったマーク・  
ヘリンジャー劇場を一步も出なかつた。映画の始まりに  
ブリックリン橋、ついでブロードウェイの鳩のむれ、そ  
してオーディションのむれとその劇場の入口をふかんで  
撮影、あとはまったくオーディションの劇場舞台と中央  
の客席二個のみ。

始まりにダンス指揮者が大きな口を開いてステップの  
命令を出す。これはいけないと私は思った。そのすぐあと  
でこの見渡すかぎりの五十名あまりの応募者をおぼし  
落してゆかねばならぬこのダンス監督のこのけんめいな

ダンス指揮者が大きな口を開いてステップの  
命令を出す。これはいけないと私は思った。そのすぐあと  
でこの見渡すかぎりの五十名あまりの応募者をおぼし  
落してゆかねばならぬこのダンス監督のこのけんめいな  
ダンス精神だ。

私たちにはアスティアに酔いジーン・ケリーに楽しんで  
きたが、映画史上はつきりとダンスマ画面なるものを求め  
れば、バレエの「赤い靴」（一九四八）とミュージカル  
のダンスを戸外に持ち出し、しかもタピング・リズムを  
フィルムにコマ切れふうに切りこんでダンスマ・リズムを  
語（一九六〇）のふたつであろう。そして今や「コー  
ラスライン」（一九八五）はこの二本にならぶダンスマ  
画面の鮮やかな代表といえる。しかも「ウエスト・サイド物  
語」（一九六〇）のふたつである。

そして今や「コー  
ラスライン」（一九八五）はこの二本にならぶダンスマ  
画面の鮮やかな代表といえる。しかも「ウエスト・サイド  
物語」（一九六〇）のふたつである。そして今や「コー  
ラスライン」（一九八五）はこの二本にならぶダンスマ  
画面の鮮やかな代表といえる。しかも「ウエスト・サイド  
物語」（一九六〇）のふたつである。

物語」とまったく反対にダンサーたちは唯の一步も舞台  
そのステージから足を戸外に向けはしなかった。  
ダンスマ画面といえばケン・ラッセル監督の「ボーア  
フレンド」（一九七一）がヴォードヴィリアン・ダンス  
の何たるかをレヴューのステップの何たるかを見せて  
素晴らしかった。

そしてスペイン映画のカルロス・サウラ監督の「カル  
メン」（一九八三）はフラメンコの何たるかを稽古場ひと  
つで描いて見せた。ブロードウェイで目下まだ「コーラ  
スライン」は続演中である。数えて十一年目にはいつて  
いる。これを知ると一九八三年作のカルロス・サウラの  
「カルメン」が「コーラスライン」に刺激され生れた  
ことに気づくわけである。大きな鏡の前での群舞はまさ  
に「コーラスライン」そっくりだった。けれどもこの  
「カルメン」には「赤い靴」が私たちにバレエを教えた  
ようにフラメンコ・ステップの何たるかを教えてくれた。  
ところで映画の「コーラスライン」は振付が「フラッ  
シュダンス」の二十九才のジェフリー・ホーナティにか  
わっている。舞台は演出者のマイケル・ベネットだっ  
た。どういうわけで舞台の振付と映画の振付を変えたの  
であろう。ダンスにかぎっては舞台のほうがはるかに美  
しかった。また鏡の使い方も映画は舞台の鏡の使い方を  
避けた。あまりにも舞台が世間に知れわたっていること  
からの逃避であろうか。しかし文句はいくらもあるが  
映画「コーラスライン」は、よく出来ていた。ラストで  
テストには落した連中にもすべて金ピカ衣裳をつけて登  
場させたあたりにアッテンボローの愛情が思われた。そ  
れとも終始テスト風景ゆえのラストにいたって、せめて  
もの豪華ムードというつもりなのであろうか。

とにかくマービン・ハムリッシュのあの素晴らしい作  
曲、この舞台のオリジナルの名曲が映画スターと同時  
にあふれ流れるところから「コーラスライン」はもう生  
命を呼吸する。映画になり得なかつた「コーラスライ  
ン」を映画にし終わらせたアッテンボローはやはり御立派  
だった。



舞台上の一本のライン「コーラスライン」をめぐって厳しいオーディションが繰り広げられる

133